

配布資料1 建設コンサルタンツ協会（建コン協）「業界展望を考える若手の会」（若手の会）と コンサルティングエンジニア連盟（連盟）との意見交換会開催報告

日時 2024年6月17日(月) 15時00分～17時15分

場所 (一社)建設コンサルタンツ協会 7階 会議室

出席 連盟(6名) 村田会長 高野前会長 松村幹事長 森責任者 松原会計担当者 和作本部幹事
建コン協若手の会(8名) 委員長 青柳竜二

委員 横尾拓 本間雄太 福田悠太 佐々木理弦 深石洋 白倉和也 中垣文那 以上14名

配布資料

事前送付資料 1. 連盟の概要 PDF1 2. 若手の会が建コン協へ提出した資料

3. 土木学会誌特集(若手活動関連) PDF3 4. 若手の活動(R5建コン白書) PDF4

5. 佐藤、足立議員の活躍 PDF5 6. 建設コンサルタントの法的根拠 PDF6 7. 品確法改正案 PDF7

当日配布資料 8 若手の会活動報告(若手の会) 9 建コン協会のビジョンの経緯(村田会長)PDF9

10 連盟リーフレット(連盟事務局) PDF10 11 悲鳴を挙げる官僚(同前) PDF11

開催概要

開催目的

コンサルタントで働く大切な人財のため、その社会的地位・経済的地位向上に向け、それらを政治の力を借りて実現する方策について若手の会との議論を深め具現化する

資料説明

村田会長から資料9を基に建コン協の3つのビジョンについて説明がなされた。

青柳委員長から資料4、8を基に若手の会の活動及び魅力、やりがいなどについて説明がなされた。

松村幹事長が、連盟の活動概要、建設コンサルタントと政治、準会員の役割などについて説明した。

連盟の挨拶と発言

村田会長 連盟の活動には、建コン協の若手の理解が必要と思っている。どんな活動をすれば若手の方に関心をもってもらえるのか、具体的な提案をいただきたい。

準会員への入会の足かせがあればお聞かせ願いたい。佐藤議員、足立議員に業界の課題や改善案などの提案をしてほしい。公共事業には税金が使われているが、建設コンサルタントは、政治によって決められる税金の使い方に関心を持つべきである。

松村幹事長 若手の会の構成会社などから要望があれば、佐藤議員、足立議員との意見交換会開催について連盟が仲を取り持ちたい。今日の議論を踏まえて、連盟への入会、今後の意見交換会の継続の要否などについて検討いただきたい。

高野前会長 建設コンサルタントの社会的な位置づけが大事で、技術者が社会からもっと尊敬されるべきだと思っている。

何故政治家を支援するかというと、建設コンサルタントの立場は弱くて、独占資格でなく、著作権も発注者に移り、請負と委託の間にあって、技術力よりも価格競争になって、資格がなくとも誰でも仕事ができる。これらの課題解決を行政(国交省など)にぶつけても無理なので、品確法改正のように法制度から国会(立法院)を通じて改善していく必要がある。このため、議員に国会の場で発言してもらうよう活動している。今の制度では議員を会社として支援できないので、連盟という個人会員の組織によって活動している。このような状況をもっと建設コンサルタントの方々に説明して理解してもらう必要があるのかもしれない。この状況は会社で組合に入らない(組合費を払わない)人が、組合が勝ち取った福利厚生等を使っているのに似ている。

森会計責任者 技術者単価のUPは毎年実現されているが、加えて公共事業の増加はとても大事なことである。



若手の会と連盟との意見交換会全景(敬称略)

左手前から 佐々木 福田 本間 横尾

正面左から 青柳 村田 松村

右手前から 和作 松原 (森) 高野

手前左から 深石 白倉 中垣(撮影者 森)



正面左から

青柳 若手の会委員長 村田 連盟会長 松村 連盟幹事長

若手の会の発言

青柳委員長 若手の会としてもっと視野を広げ、視座を高めるために本日の会議に出席した。建コン協では両議員を支援しているが、若手の会として議員を表立って支援した場合に、業界の若手がどのように受け止めるかを考えると会として支援してよいのか悩ましい。個人としての支援は問題ないと思うが、政治の支援に対してネガティブに思う方も少なからずいると思う。そのため若手の会として自民党だけを支援するというのは、他の目からどう映るのか懸念される。



横尾委員 若手の会の活動は、多様な人と会えておもしろく、今回の意見交換では、改めて自分たちの仕事と政治について考えるよい機会になった。今後の活動の参考としていきたい。

本間委員 今後の連携方法については、若手の会メンバーで議論し、回答する。若手の会のガバナンスとして、特定政党のみを支援することは考えていない。一方で、若い世代に政治アレルギー的な課題があることも感じており、当業界と政治の関係について、解像度を上げて相互に理解していくことが重要である。

参考までに、準会員となることで、他政党が応援できなくなる等の縛りはあるのか？ ⇒ 縛りはない。



福田委員 建コン協や会社の上層部も連盟の活動趣旨をよく理解していないと思われる。連盟には上層部に趣旨を説明する機会を設けていただきたい。

技術者単価がアップしても発注額が変わらないと、利益はゼロに近づく現状がある。



佐々木委員 ほとんどの委員は自民党を支援するために若手の会に入ったわけではないため、若手の会が特定の政党を支援することはできない。一方でSNS等を活用し、若い世代に人気の政治家がいることも事実なので、足立議員との意見交換会等を通じて、政治に関心を持つこと、技術者単価アップの背景を知ることには有意義であり、議員と触れ合う機会を設けるのは良い。高野前会長の仰る「業界を良くしていこう」という業界への愛を、若手の間に育む土壌が必要だと思う。



深石委員 若手の会の活動の中で、「業界外の方に自分の仕事が十分に評価・理解されない」と言っている人を聞く。若手の会のPR活動と連盟の議員支援による地位向上は、マッチングしていると思う。

臼倉委員 準会員は昨年末 482 名とのことだが、連盟の活動をよく理解しているということか？

⇒ 活動を理解している人のほか、会社からの働きかけも考えられる。

中垣委員 技術者単価が知らない間に上がっている背景（国会議員が活動）を理解できた。会社には、出世欲のない人、3Kの中今のポジションで満足している人がいて、いやになったら転職する若手が増えている。業界のバックグラウンドを理解して今後のことを考えていくこと、会社の上層部も連盟の活動をよく理解していることが必要である。



若手の会と連盟との意見交換会集合写真(敬称略)
後列左から

中垣 臼倉 福田 深石 横尾 本間 佐々木
前列左から

和作 高野 青柳 村田 松村 森

(撮影者 松原)